



# 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月22日

会社名 三国商事株式会社 グリーンシート銘柄  
コード番号 8062 URL <http://www.mikunishoji.co.jp/>  
代表者（役職名）取締役社長（氏名）井上 純吉  
問合せ先責任者（役職名）総務部長（氏名）下村 定 (TEL) (03) 3438-1021  
半期報告書提出予定日 平成24年12月25日  
半期決算取締役会開催日 平成24年11月22日

（百万円未満切捨て）

## 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

### (1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,279	0.3	33	△41.1	22	△53.8	△14	—
24年3月期第2四半期	11,250	△5.6	57	△4.1	48	231.9	17	—

（注）包括利益 25年3月期第2四半期 △39百万円（-%） 24年3月期第2四半期 4百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第2四半期	円 銭 △2.41	円 銭 —
24年3月期第2四半期	円 銭 3.01	円 銭 —

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	8,524	1,675	18.9	268.85
24年3月期	8,328	1,744	20.1	280.00

（参考）自己資本 25年3月期第2四半期 1,607百万円 24年3月期 1,674百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	24,000	5.6	60	△36.8	30	△14.3	5.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：有  
④ 修正再表示：無

(注) 第1四半期より有形固定資産の減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は【添付資料】P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	6,000,000株	24年3月期	6,000,000株
25年3月期2Q	19,184株	24年3月期	19,184株
25年3月期2Q	5,980,816株	24年3月期2Q	5,981,482株

#### （参考）個別業績の概要

##### 1. 平成25年3月期第2四半期の個別業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 個別経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,306	△1.3	30	△14.9	62	116.3	21	65.1
24年3月期第2四半期	9,426	△2.1	35	192.2	28	—	12	—

	1株当たり 四半期純利益
	円 銭
25年3月期第2四半期	3.53
24年3月期第2四半期	2.14

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	6,833	1,553	22.7	259.80
24年3月期	6,945	1,586	22.8	265.27

（参考）自己資本 25年3月期第2四半期 1,553百万円 24年3月期 1,586百万円

##### 2. 平成25年3月期の個別業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	18,600	1.9	100	37.0	50	92.3	8.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我国経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー補助金制度等の政策効果により緩やかな回復の兆しが見られたものの、欧州財政危機を背景とした世界経済の停滞、円高の長期化、株式市場の低迷など依然として厳しい状況が続きました。

このような経済環境下にあリまして、当社グループは、成長性を確保するため、既存事業での営業体制の強化、海外拠点の体質強化、新規事業推進体制の充実等、経営基盤強化のための諸施策に取り組んでまいりました。この結果、顧客の海外生産移管に伴う需要低迷や価格競争の激化等はありませんでしたが、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,279百万円（前年同四半期比29百万円の増加）、売上総利益は854百万円（前年同四半期比8百万円の増加）、営業利益は33百万円（前年同四半期比23百万円の減少）、経常利益は22百万円（前年同四半期比25百万円の減少）となり、四半期純損失は株価下落に伴う投資有価証券評価損25百万円を計上した結果14百万円（前年同四半期比32百万円の減少）となりました。

以下、報告セグメントごとに業績の概況をご報告いたします。各セグメントの売上高は、相殺後売上高を記載しております。

#### ①金属事業

主力の表面処理鋼板は、住宅関連及び冷蔵庫向けが、価格競争の激化によるシェアの低下や廉価な韓国材への切り替え等により、大幅に売上が減少いたしました。また、電磁鋼板におきましても、電力会社向けトランスや電動工具向けは好調に推移いたしました。また、スポット取引が大きく落ち込んだため、売上が減少いたしました。この結果、売上高は2,172百万円（前年同四半期比5.7%減）となりました。

#### ②電線事業

重電及び自動車向けの巻線は堅調に推移し、前年同期とほぼ同水準を維持いたしました。機器用電線は、遊技機向けが漸増いたしました。民生用電気機器向けが大幅に減少したため、全体では約10%強減少いたしました。一方、海外からの電池用材料及びLED照明の輸入販売が大幅に増加いたしました。この結果、売上高は3,741百万円（前年同四半期比15.5%増）となりました。

#### ③化成事業

主力の配線板用銅張積層板は、民生及び産業機器向けが減少傾向の中、車載・アミューズ向けが伸長いたしました。結果、売上は増加いたしました。半導体材料は、食品検査機器向け無機結晶が大幅に増加いたしました。主力のレーザー用半導体が前期に引き続き、ブルーレイレコーダー・パソコンの低迷による需要減少を補い切れず、売上は減少いたしました。また、機械設備も当四半期に大型案件が無く低調に推移いたしました。この結果、売上高は2,792百万円（前年同四半期比14.6%減）となりました。

#### ④海外

欧州通貨危機の影響が続く中、中国内需の拡大と新興国向けの輸出に支えられましたが、日本メーカーの薄型テレビ撤退等により既存品の減少に歯止めが掛からない状態が続きました。一方で白物家電用は堅調に推移し、またLED照明関連が順調に立ち上がり売上増に貢献いたしました。この結果、売上高は2,573百万円（前年同四半期比5.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は8,524百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円増加いたしました。主に現預金が減少し、受取手形及び売掛金、電子記録債権が増加し、流動資産が233百万円増加したことによるものであります。

負債は6,848百万円となり、前連結会計年度末に比べ265百万円増加いたしました。主に長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は1,675百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円減少いたしました。四半期純損失に加え、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ446百万円減少し、733百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、627百万円となりました。これは主に売上債権の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、16百万円となりました。これは主に有形固定資産と無形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は200百万円となりました。これは主に銀行借入金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しにつきましては、欧米景気の減速や中国を始めとする新興国の成長鈍化を受けて、輸出の低迷が懸念されるとともに、民間設備投資の需要停滞や個人消費の伸び悩み等、先行き不透明な状況が続くと予想されます。

このような状況下にありまして、当社グループは、国内においては部門間相互の連携や新規事業推進部門を中心とした新規製品、新規販路の開拓等により、顧客ニーズに対する速やかな対応や積極的な営業活動を実行してまいります。一方、海外においても、中国・タイ等の海外子会社の体質を強化し、中国及び東南アジア市場において更なるグローバル展開を進めてまいります。下期も非常に厳しい事業環境が予想されますが、持続的成長と経営体質強化のため、全社を挙げて業績の向上及び収益の改善に取り組んでまいります。

なお、通期の業績予想につきましては、本日（平成24年11月22日）公表いたしました「平成25年3月期第2四半期及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,180,480	733,634
受取手形及び売掛金	5,333,449	5,534,858
電子記録債権	135,317	566,510
たな卸資産	814,826	828,525
繰延税金資産	46,056	48,190
未収還付法人税等	436	—
その他	201,979	234,318
貸倒引当金	△30,219	△30,040
流動資産合計	7,682,326	7,915,997
固定資産		
有形固定資産	346,579	347,685
無形固定資産	3,579	12,234
投資その他の資産		
その他	341,891	294,894
貸倒引当金	△46,000	△46,000
投資その他の資産合計	295,891	248,894
固定資産合計	646,050	608,814
資産合計	8,328,376	8,524,812
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,525,883	3,579,889
短期借入金	2,580,629	2,571,791
未払法人税等	26,418	18,245
役員賞与引当金	9,000	5,000
その他	141,819	141,516
流動負債合計	6,283,751	6,316,442
固定負債		
長期借入金	78,761	319,786
退職給付引当金	112,993	112,456
役員退職慰労引当金	72,170	52,530
繰延税金負債	35,933	45,494
その他	—	2,260
固定負債合計	299,858	532,528
負債合計	6,583,609	6,848,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,000	350,000
資本剰余金	1,333	1,333
利益剰余金	1,360,890	1,316,573
自己株式	△2,968	△2,968
株主資本合計	1,709,256	1,664,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,242	336
為替換算調整勘定	△58,898	△57,361

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
その他の包括利益累計額合計	△34,656	△57,025
少数株主持分	70,167	67,927
純資産合計	1,744,767	1,675,840
負債純資産合計	8,328,376	8,524,812

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	11,250,431	11,279,433
売上原価	10,404,564	10,424,824
売上総利益	845,866	854,609
販売費及び一般管理費	788,673	820,939
営業利益	57,192	33,669
営業外収益		
受取利息	17,255	15,951
受取配当金	2,817	3,048
雑収入	8,368	6,989
営業外収益合計	28,440	25,989
営業外費用		
支払利息	16,179	18,181
手形売却損	4,743	4,286
為替差損	8,428	3,553
雑損失	8,168	11,421
営業外費用合計	37,519	37,442
経常利益	48,113	22,216
特別損失		
投資有価証券評価損	6,411	25,662
特別損失合計	6,411	25,662
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	41,702	△3,445
法人税、住民税及び事業税	12,647	6,456
法人税等調整額	2,032	7,141
法人税等合計	14,680	13,597
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	27,022	△17,043
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9,032	△2,629
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,990	△14,413



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	27,022	△17,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,960	△23,905
為替換算調整勘定	△2,529	1,926
その他の包括利益合計	△22,489	△21,979
四半期包括利益	4,532	△39,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,714	△36,782
少数株主に係る四半期包括利益	9,247	△2,239

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	41,702	△3,445
減価償却費	6,542	6,135
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△192	△216
受取利息及び受取配当金	△20,072	△18,999
支払利息	16,179	18,181
売上債権の増減額(△は増加)	△645,440	△620,642
たな卸資産の増減額(△は増加)	△91,849	△10,590
仕入債務の増減額(△は減少)	121,928	43,399
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,800	△19,640
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,000	△4,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,959	△537
投資有価証券評価損益(△は益)	6,411	25,662
その他	164,943	△29,142
小計	△402,006	△613,835
利息及び配当金の受取額	20,086	19,091
利息の支払額	△16,233	△18,300
法人税等の支払額	△6,597	△14,849
営業活動によるキャッシュ・フロー	△404,751	△627,894
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△559	△5,859
無形固定資産の取得による支出	—	△7,200
投資有価証券の取得による支出	△4,988	△5,209
貸付金の回収による収入	427	436
その他	2,471	1,258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,649	△16,574
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△56,111	△11,998
長期借入れによる収入	—	241,853
長期借入金の返済による支出	△1,921	—
配当金の支払額	△29,270	△29,622
その他	—	△175
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87,304	200,057
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,202	△2,434
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△500,907	△446,846
現金及び現金同等物の期首残高	1,127,335	1,180,480
現金及び現金同等物の四半期末残高	626,427	733,634

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

①前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日 本			海外	計		
	金属事業	電線事業	化成品事業				
売上高							
外部顧客への売上高	2,303,331	3,239,611	3,269,036	2,438,451	11,250,431	—	11,250,431
セグメント間の内部 売上高又は振替高	203,823	189,534	221,136	642,727	1,257,222	△1,257,222	—
計	2,507,154	3,429,145	3,490,173	3,081,179	12,507,653	△1,257,222	11,250,431
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△13,879	3,348	33,188	17,952	40,610	16,582	57,192

- (注) 1 セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額16,582千円には、セグメント間振替高3,455千円、各報告セグメントに配分していない全社費用13,127千円が含まれております。
- 2 セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

②当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日 本			海外	計		
	金属事業	電線事業	化成品事業				
売上高							
外部顧客への売上高	2,172,104	3,741,199	2,792,523	2,573,606	11,279,433	—	11,279,433
セグメント間の内部 売上高又は振替高	169,328	175,449	255,559	1,184,339	1,784,677	△1,784,677	—
計	2,341,433	3,916,649	3,048,083	3,757,945	13,064,111	△1,784,677	11,279,433
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△12,944	2,468	41,751	△743	30,531	3,138	33,669

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額3,138千円には、セグメント間振替高3,974千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△835千円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。